

令和4年度 自己評価・学校関係者評価

学校法人藤原学園日本平幼稚園

学校法人藤原学園日本平幼稚園 学校関係者評価委員会

【教育理念】

自ら未来を切り開き、幸せに、しなやかに人生を歩むことが出来る人としての土台を育む

【教育目標】

「やさしい心・健やかな身体・豊かな想像力」のバランスのある成長・発達を促す。

【教育方針】

6つの生きる力を育む

～自立心（自律）、積極性、協力心、表現力、想像力（創造力）、感謝～

【本年度の重点課題】

- 1 子どもが自ら選択し、主体的に行動できる環境設定への取り組み
- 2 小学校との接続を見据えた教育への取り組み
- 3 職務分担を行い、保育者が保育に専念できる環境整備

【各評価】

	自己評価		学校関係者評価	
計 保 画 育 性 の	B	昨年度の反省を元に長期的な計画、短期的な計画を立て、日々教育・保育活動を進めてきた。その中で個別対応が必要な場合も多々あり、今後は個別での指導計画をよりきめ細かい形で計画・実行していくかが課題であると感じている。	B	新型コロナウイルスへの対応の中で、なかなか計画的に進めることが難しかったように思う。しかし徐々に緩和されている部分があったり、工夫して計画している様子が見られる。
保 育 内 容	A	新型コロナ対策として縮小されていた教育活動をだんだんと再開してきたことから、充実した教育活動が出来たと感じている。今後も子ども達自身が主体的に活動できる支援・援助、環境設定、保育内容について、全教職員で考えて行きたい。	A	子ども達一人ひとりを大切にした教育に熱心に取り組んでいると感じられる。また「挨拶」「返事」等の基本的な習慣にも丁寧に取り組んでいることが評価出来ると感じる。
園 対 児 応 へ の	B	子ども達の想いや個性を大切にしつつ、新しいことや苦手なことに少しでもチャレンジする中で、達成感や充実感を味わえるように活動を進めてきた。また個別の支援が必要な子どもが増えていることから、配置の増員や教職員間のより綿密な情報共有に努めていきたい。	A	子ども達に丁寧に接する様子が評価できる。また昨今、支援の必要な子が増えてきている中で、教職員の増員もここ数年毎年行っており、一人ひとりの子ども達との関わりを大切にする努力が感じられる。
研 向 修 上 の 資 研 為 究 の 能 力	A	ECEQという公開保育を通した研修を通して、自園の強みや課題の共有や保育の改善に教職員全体で取り組んできた。特に公開保育当日は、他園の保育者からの気づきや保育のアイデアから多くの学びがあり、今後の保育や一人ひとりの専門性の向上に繋がった。	A	新たな取り組みであるECEQによって、外部からの意見を積極的に取り入れる姿勢は評価できると感じられる。是非、この取り組みから得られた成果を今後にかけて欲しい。

保護者対応	A	日々の連絡や子どもの様子を伝えるウィークリーメッセージ、園だより、ブログ等を通して、子ども達の様子や成長について伝えるよう努力している。また年度末の保護者アンケートの結果、ほとんどの保護者の方から良い評価を得ることが出来た。	A	保護者の様々なニーズに対して、すべてではないものの、応えようとする姿勢は評価できると感じられる。日々の教育や保護者への対応が、保護者アンケートの高い評価につながっていると感じられる。
地域との関わり	A	地域の環境を生かす取り組みとして、いちご狩りやお茶摘み等、地域の方の協力を得ながら行ってきた。また今年度は新たに清水の「マグロ」について学ぶ機会として、地域企業と協力し、子ども達の学びの機会を設けた。今後もこうした地域とのつながった活動を継続していきたい。	A	教育施設という立場上、地域の理解を得ながら運営していくことは非常に大切だと感じる。地域とのつながりを積極的に取り入れる、発信する等の工夫が充実していることは評価できると感じる。

A：十分達成されている、B：達成されている、C：取り組まれているが成果が十分でない、D：取組が不十分である。

【次年度に向けて取り組む課題】

- ・園の環境（自然環境等）を生かした特色ある教育の実践
- ・支援の必要な子どもへの対応
- ・教職員の働き方改革